

**I 第23週の発生動向 (2011/6/6~2011/6/12)**

1. インフルエンザについては、全ての管内において、警報・注意報は解除されています。(詳細についてはV県内インフルエンザ情報をごらんください)。
2. 流行性耳下腺炎については、上十三保健所管内において第22週から**注意報**が、むつ保健所管内において第47週から**警報**が継続しています。

**II 第23週五類感染症定点把握** 注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 +内科 (85) インフルエンザ	5	0.4	17	1.1	11	0.8	1	0.1	19	2.1	14	2.8	67	1.0	-55	2	1.0	3	0.3
小児科 (74) RSウイルス感染症	3	0.3	2	0.2					2	0.3			7	0.2	-2			3	0.4
小児科 (75) 咽頭結膜熱	8	0.9	9	1.0	1	0.1							18	0.4	6			8	1.0
小児科 (76) A群溶血性レンカ球菌咽頭炎	18	2.0	6	0.7	2	0.2			4	0.7	3	1.0	33	0.8	-5	1	1.0	17	2.1
小児科 (77) 感染性胃腸炎	55	6.1	33	3.7	8	0.9	7	1.4	19	3.2	26	8.7	148	3.6	10	16	16.0	39	4.9
小児科 (78) 水痘	33	3.7	25	2.8	10	1.1	1	0.2	10	1.7	4	1.3	83	2.0	25			33	4.1
小児科 (79) 手足口病	1	0.1	24	2.7	1	0.1	3	0.6					29	0.7	12			1	0.1
小児科 (80) 伝染性紅斑	2	0.2	5	0.6	4	0.4	1	0.2			3	1.0	15	0.4	5			2	0.3
小児科 (81) 突発性発しん	7	0.8	2	0.2	2	0.2	2	0.4	4	0.7	2	0.7	19	0.5	-4	1	1.0	6	0.8
小児科 (82) 百日咳															0				
小児科 (83) ヘルパンギーナ			9	1.0	1	0.1							10	0.2	6				
小児科 (84) 流行性耳下腺炎	8	0.9			22	2.4			24	4.0	7	2.3	61	1.5	2			8	1.0
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0				
眼科 (87) 流行性角結膜炎					1	0.5	3	3.0					4	0.4	3				
基幹 (92) クラミジア肺炎															0				
基幹 (93) 細菌性髄膜炎															0				
基幹 (95) マイコプラズマ肺炎			6	6.0	13	13.0					3	3.0	22	3.7	12				
基幹 (96) 無菌性髄膜炎															0				

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。

**III 表II以外の感染症法対象疾患 (注:届出状況は速報値です)**

- (9) 結核(二類全数把握疾患): 東地方1人、弘前2人、五所川原2人 (23年計:153人)
- (34) つつが虫病(四類全数把握疾患): 五所川原1人 (23年計:5人)
- (73) 麻しん(五類全数把握疾患): 上十三1人 (23年計:5人)

**IV 病原体検出情報**

※( )内は、検体採取日及び患者数です。

・インフルエンザ患者4名 (6/2~6/4)

**B型**: 弘前(2)、八戸(1)、むつ(1)

**感染症の窓**

**水痘 (五類定点把握疾患)**

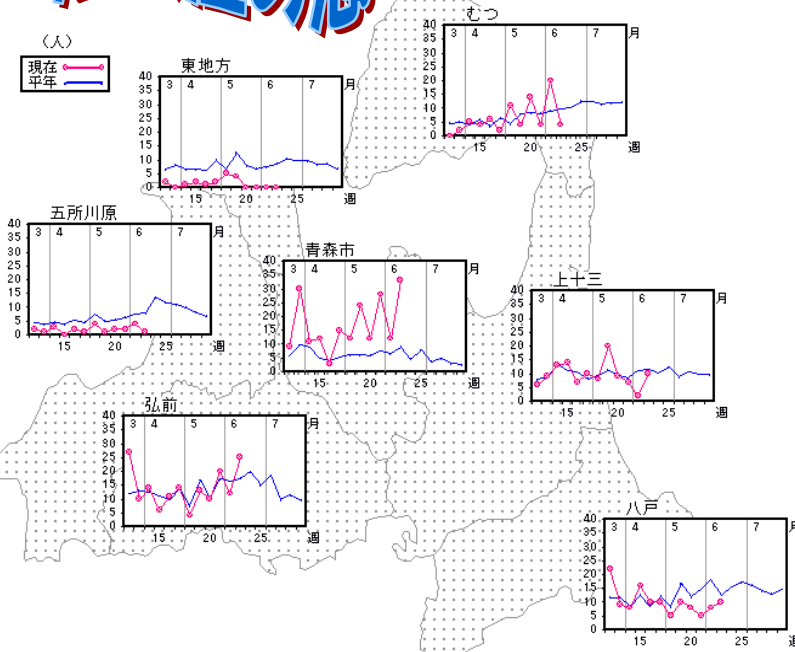


図 県内届出数の推移

水痘は、一般に「水疱瘡」と呼ばれ、病原体は、水痘帯状疱疹ウイルスです。方言で「つづらご」とも呼ばれる帯状疱疹も同じウイルスが原因です。

感染すると、2週間程度の潜伏期間後に、発熱、全身倦怠感を呈し、その後に紅斑が頭皮から現れ、体幹、四肢へと広がります。紅斑は、短期間に丘疹、水疱、かさぶたに変わっていくため、各段階の発疹が混在するのが特徴です。

好発年齢は5歳以下で、一般的には軽症です。1歳以下、15歳以上では合併症を伴うこともあり、免疫機能が低下している患者は重症化することもあります。

感染経路は、発疹出現1~2日前からかさぶたになるまでの患者の飛沫、飛沫核による空気感染、ヒトからヒトへの接触感染です。感染力が強いため二次的な感染や、家庭内感染に注意が必要です。(IDWR 国立感染症研究所「感染症の話」参考)

県内の保健所管内では、青森市、弘前で平均(過去10年間の平均)よりも届出数が多くなっています。



VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）（届出数は速報値です）単位：人 2010年第52週～2011年第22週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
52	H22.12.27 ~ H23.1.2						
1	H23.1.3 ~ H23.1.9						
2	H23.1.10 ~ H23.1.16						
3	H23.1.17 ~ H23.1.23						
4	H23.1.24 ~ H23.1.30			腸管出血性大腸菌感染症1人			
5	H23.1.31 ~ H23.2.6	腸管出血性大腸菌感染症1人	急性脳炎1人	麻しん1人			
6	H23.2.7 ~ H23.2.13			麻しん1人			
7	H23.2.14 ~ H23.2.20					腸管出血性大腸菌感染症1人	
8	H23.2.21 ~ H23.2.27		腸管出血性大腸菌感染症1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
9	H23.2.28 ~ H23.3.6		腸管出血性大腸菌感染症3人				
10	H23.3.7 ~ H23.3.13		劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人	梅毒1人			
11	H23.3.14 ~ H23.3.20						
12	H23.3.21 ~ H23.3.27						
13	H23.3.28 ~ H23.4.3						
14	H23.4.4 ~ H23.4.10						
15	H23.4.11 ~ H23.4.17			麻しん1人 アメモバ赤痢1人		麻しん1人	
16	H23.4.18 ~ H23.4.24						
17	H23.4.25 ~ H23.5.1			レジオネラ症1人			
18	H23.5.2 ~ H23.5.8						
19	H23.5.9 ~ H23.5.15	つつが虫病1人					
20	H23.5.16 ~ H23.5.22				つつが虫病1人		
21	H23.5.23 ~ H23.5.29			つつが虫病1人			
22	H23.5.30 ~ H23.6.5	つつが虫病1人					

VII 結核(二類全数把握疾患) 2010年第52週～2011年第22週

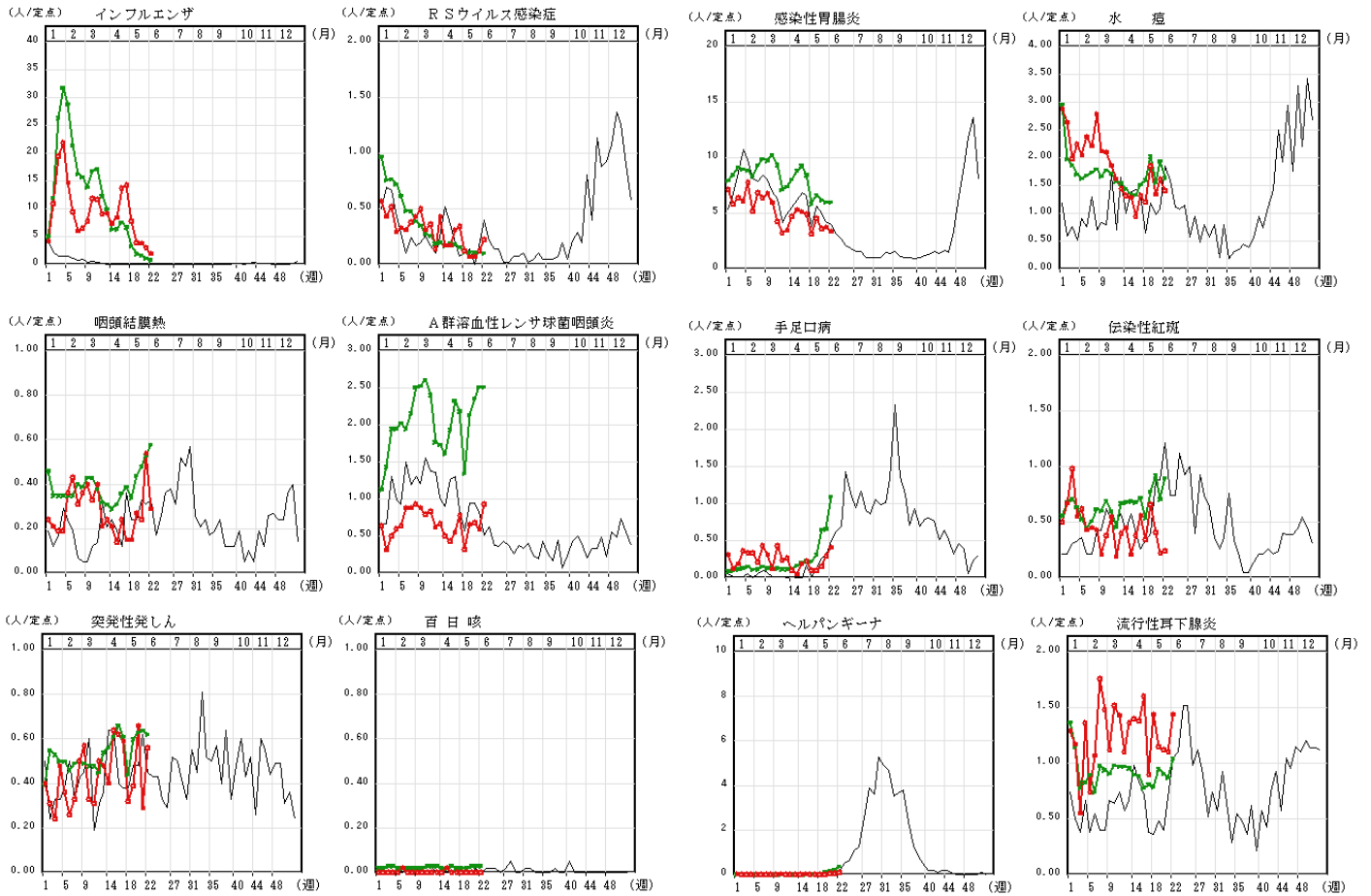
週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
52	H22.12.27 ~ H23.1.2		1	1	1	1	
1	H23.1.3 ~ H23.1.9	2	1	2	4		
2	H23.1.10 ~ H23.1.16		1	2	2	1	
3	H23.1.17 ~ H23.1.23		1	5	3		
4	H23.1.24 ~ H23.1.30		1	2		4	1
5	H23.1.31 ~ H23.2.6	2	1	2			
6	H23.2.7 ~ H23.2.13					1	1
7	H23.2.14 ~ H23.2.20		1	1	1		
8	H23.2.21 ~ H23.2.27		2		5	1	1
9	H23.2.28 ~ H23.3.6		3	1		1	
10	H23.3.7 ~ H23.3.13	2	1	3			
11	H23.3.14 ~ H23.3.20	2		2	1	2	1
12	H23.3.21 ~ H23.3.27		1	1			
13	H23.3.28 ~ H23.4.3	1	2	2		1	
14	H23.4.4 ~ H23.4.10	2	2	6	1	2	
15	H23.4.11 ~ H23.4.17	1	2	4	1		
16	H23.4.18 ~ H23.4.24	4		4	3		
17	H23.4.25 ~ H23.5.1	1	1		1		
18	H23.5.2 ~ H23.5.8	1	1	1	2		
19	H23.5.9 ~ H23.5.15		2	2	3	1	
20	H23.5.16 ~ H23.5.22	2		1			
21	H23.5.23 ~ H23.5.29	1		5	3	3	
22	H23.5.30 ~ H23.6.5	2	2		1	1	

VIII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）（注：届出状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

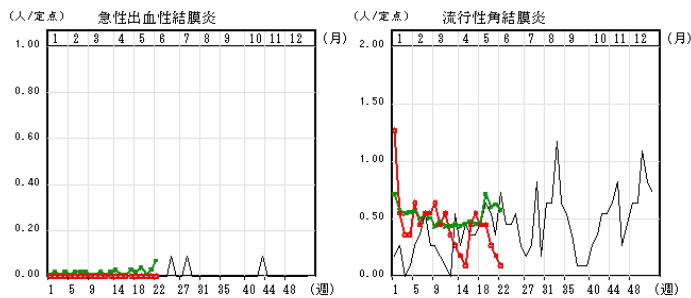
2011年6月13日17時集計速報値

	二類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	
	急性灰白髄炎	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキ/コックス症	オウム病	コクシジオデス症	テング熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ポツリヌス症	マラリア	ライム病
全国	1	12032	2	84	692	7	12	29	124	10	8	2	5	104	40	15	1	2	26	2
青森県	0	152	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0
	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメモバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	途天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎菌性髄膜炎	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイン耐性球菌感染症	風しん	麻しん			
全国	231	5	322	105	149	4	48	102	596	28	6	1	298	42	23	183	298			
青森県	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	5			

グラフの説明 ○—○は2011年青森県、——は2010年青森県、○—○は2011年全国  
 IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 2011年第22週



X 眼科定点把握疾患週別推移 2011年第22週



XI 基幹定点把握疾患週別推移 2011年第22週

